

SECURITY & CONTRACT METHOD

セキュリティ・契約方式ガイド

なぜSimple Contractは安全なのか

電子契約の仕組みと法的根拠、
セキュリティ対策を詳しく解説します。

Version 1.0 | 2026年2月発行

目次

01	Simple Contractの安全性	03
02	立会人型電子署名とは	05
03	3つの署名方式	07
04	電子契約の法的有効性	10
05	セキュリティ対策	12
06	証跡の記録と保全	15
07	よくある質問	17

本ガイドについて

本ガイドは、Simple Contractのセキュリティと契約方式について詳しく知りたい方向けの資料です。
経営者、情報システム担当者、法務担当者の方にご活用いただけます。

Simple Contractの安全性

SECURE BY DESIGN

安全な電子契約を、すべての企業に

Simple Contractは、法的有効性と高いセキュリティを両立した立会人型電子契約サービスです。

Simple Contractが安全な5つの理由

理由	説明
法的に有効な署名方式	電子署名法に準拠した立会人型電子署名を採用
全操作の証跡記録	日時・IPアドレス・端末情報をすべて記録
改ざん検知機能	PDFのハッシュ値（SHA-256）で改ざんを検知
暗号化された保管	Wasabi日本リージョンで暗号化保管
厳格なアクセス制御	権限管理と監査ログで不正アクセスを防止

印紙税が不要

電子契約には印紙税が課税されません（国税庁見解）。紙の契約書と比較して、コスト削減にもつながります。

紙の契約書との比較

項目	紙の契約書	Simple Contract
署名の証明	筆跡鑑定が必要	IPアドレス・端末情報で特定
改ざん検知	目視確認のみ	ハッシュ値で自動検知
署名日時	自己申告	サーバー時刻で正確に記録
保管の安全性	紛失・劣化リスク	暗号化クラウド保管
検索性	手作業で探索	キーワード検索可能
印紙税	課税	非課税

電子契約のメリット

- ✓ いつ・誰が・どの端末から署名したかを正確に記録
- ✓ 契約書の改ざんをシステムで検知
- ✓ 紛失リスクなし、長期保管が可能
- ✓ 場所を選ばず契約締結が可能
- ✓ 郵送不要でスピーディーに完了
- ✓ 印紙税が不要でコスト削減

立会人型電子署名とは

電子署名の2つの方式

電子署名には大きく分けて「当事者署名型」と「立会人型」の2つの方式があります。

	当事者署名型	立会人型 (Simple Contract)
署名方法	署名者本人の電子証明書で署名	サービス提供者が署名を代行
電子証明書	署名者が取得・管理	不要
本人確認	電子証明書による認証	メール・LINE・対面で確認
導入の手軽さ	証明書取得に時間とコスト	すぐに利用開始可能
相手方の負担	証明書取得が必要	アカウント登録不要

政府も立会人型を認めています

2020年、政府は「立会人型電子署名」について、電子署名法第2条・第3条の要件を満たしうるとの見解を示しました。これにより、立会人型電子契約の法的有効性が明確になりました。

Simple Contractの署名プロセス

Simple Contractでは、以下のプロセスで契約を締結します。各ステップで証跡が記録されます。

01 契約書をアップロード

送信者が契約書PDFをアップロード。この時点でPDFのハッシュ値が記録されます。

02 署名依頼を送信

メールまたはLINEで相手方に署名依頼を送信。一意のURLが発行されます。

03 相手方が契約内容を確認

相手方が専用URLから契約書PDFを閲覧。閲覧日時とIPアドレスが記録されます。

04 同意ボタンをクリック

相手方が「同意する」ボタンをクリック。署名日時・IP・端末情報が記録されます。

05 契約成立

全員の署名が完了すると契約が成立。署名履歴付きPDFが生成されます。

相手方のアカウント登録は不要

立会人型の大きなメリットは、相手方のアカウント登録が不要なことです。メールやLINEで届いたリンクから、すぐに署名できます。

3つの署名方式

FLEXIBLE SIGNING

シーンに合わせた署名方式を選択

メール・LINE・対面QRコードの3つの方式から、
相手方の状況に最適な方法を選べます。

署名方式の比較

	メール署名	LINE署名	対面QR署名
送信方法	メールでURL送信	LINEでコード送信	QRコードを提示
本人確認	メール到達で確認	LINEアカウントで確認	その場で本人確認
相手方の必要物	メールアドレス	LINEアカウント	スマートフォン
適したシーン	一般的なビジネス	個人・LINE利用者	介護施設・対面取引

メール署名

最も一般的な署名方式です。相手方のメールアドレスに署名用URLを送信します。

01 署名依頼メールを送信

相手方のメールアドレスに、一意の署名用URLを含むメールを送信します。

02 相手方がURLをクリック

メール内のリンクから署名画面にアクセス。この時点でIPアドレスが記録されます。

03 契約内容を確認して署名

契約書PDFを確認し、「同意する」をクリックして署名完了。

LINE署名

LINEアカウントで本人確認を行う署名方式です。6桁のワンタイムコードで認証します。

項目	内容
認証コード	6桁の数字（ワンタイム）
有効期限	15分
試行回数制限	5回まで
ロック時間	30分（5回失敗時）
記録情報	LINE userId（アカウント識別子）

LINE署名のメリット

LINEは日本国内で9,000万人以上が利用するコミュニケーションアプリです。メールを使わない方や、スマートフォン中心の方に適した署名方式です。

対面QR署名

対面での契約締結に最適な方式です。QRコードを相手方のスマートフォンで読み取って署名します。

01 QRコード付きPDFを印刷

契約作成時に発行されるQRコード付きPDFを印刷して準備します。

02 対面でQRコードを提示

相手方にQRコードを見せ、スマートフォンで読み取ってもらいます。

03 その場で署名完了

相手方のスマートフォンで契約内容を確認し、署名を完了します。

介護・看護施設での活用

対面QR署名は、介護施設や看護施設での利用契約に最適です。ご高齢の方やご家族の目の前で契約内容を確認しながら、デジタルで署名を完了できます。紙の契約書と同じ対面の安心感を保ちつつ、電子契約のメリットを享受できます。

追加認証オプション（OTP）

より厳格な本人確認が必要な場合、署名時やダウンロード時にワンタイムパスワード（OTP）認証を追加できます。

項目	内容
認証コード	6桁の数字をメールで送信
有効期限	10分
試行回数制限	5回まで
ロック時間	15分（5回失敗時）
再送信制限	60秒のクールダウン

電子契約の法的有効性

法的根拠

電子契約の法的有効性は、以下の法律・政府見解によって担保されています。

法律・見解	内容
電子署名法（2001年施行）	電子署名が手書き署名・押印と同等の法的効力を持つことを規定
電子帳簿保存法	電子データによる契約書の保存要件を規定
政府見解（2020年）	立会人型電子署名が電子署名法の要件を満たしうることを確認
民法	契約は当事者の意思の合致により成立（書面は必須ではない）

電子署名法のポイント

- ✓ 電子署名は、手書きの署名や押印と同等の法的効力を持つ
- ✓ 本人による電子署名があれば、真正に成立したものと推定される
- ✓ 電子データも裁判の証拠として認められる

書面が法律で義務付けられている契約

定期借家契約、事業用定期借地契約など、一部の契約は法律で「書面」が義務付けられています。これらは電子契約が認められない場合があります。不明な場合は、専門家にご確認ください。

電子契約が有効な契約の例

契約種類	電子契約
業務委託契約	有効
秘密保持契約（NDA）	有効
雇用契約	有効
売買契約	有効
請負契約	有効
賃貸借契約（一般）	有効
サービス利用規約への同意	有効
各種同意書・誓約書	有効

幅広い契約に対応

Simple Contractは、業務委託契約、NDA、雇用契約、売買契約など、ほとんどの契約に対応しています。介護・看護施設の利用契約や、重要事項説明書への同意にもご活用いただけます。

裁判での証拠能力

電子契約は裁判でも証拠として認められています。Simple Contractでは、以下の証拠を記録することで、証拠能力を高めています。

- ✓ 署名日時（サーバー時刻）
- ✓ 署名者のIPアドレス
- ✓ 署名に使用した端末・ブラウザ情報
- ✓ 契約書PDFのハッシュ値（改ざん検知用）
- ✓ メールアドレスまたはLINE userId

セキュリティ対策

通信の暗号化

Simple Contractでは、すべての通信をTLS（HTTPS）で暗号化しています。

- ✓ ブラウザとサーバー間の通信はすべてHTTPS
- ✓ TLS 1.2以上の暗号化プロトコルを使用
- ✓ 通信内容の盗聴・改ざんを防止

データの暗号化保管

契約書PDFは、クラウドストレージに安全に保管されます。

項目	対策
保管場所	Wasabi Cloud Storage（日本リージョン）
暗号化方式	サーバーサイド暗号化（保管時暗号化）
アクセス制御	アクセスキーによる厳格な権限管理
冗長性	11ナインの耐久性（99.999999999%）

Wasabi Cloud Storageとは

Wasabiは、高いセキュリティと耐久性を備えたクラウドストレージです。日本リージョンでデータを保管し、国内法に準拠した運用が可能です。

アクセス制御とログイン認証

機能	説明
パスワード認証	8文字以上のパスワードを要求
セッション管理	ログイン状態の安全な管理
権限管理	ユーザーごとにアクセス権限を設定
監査ログ	すべての操作を記録・追跡可能

署名URLのセキュリティ

署名依頼で発行されるURLは、以下の対策で保護されています。

項目	内容
トークン長	64文字（256ビット）
生成方式	暗号学的に安全な乱数生成
一意性	データベースで重複を防止
有効期限	設定可能（デフォルト7日）
署名後	自動的に無効化

URLの取り扱いにご注意

署名URLを知っている人は誰でも契約内容を閲覧できます。メールやLINEで送信する際は、宛先を十分にご確認ください。

不正アクセス対策

Simple Contractは、ブルートフォース攻撃（総当たり攻撃）からシステムを保護しています。

対策	内容
OTP試行制限	5回失敗で15分間ロック
LINE認証試行制限	5回失敗で30分間ロック
署名トークン	64文字で推測は実質不可能
アクセスログ	全アクセスをIPアドレスとともに記録

監査ログの詳細

Simple Contractは、契約に関する74種類以上のイベントを記録しています。主な記録項目は以下の通りです。

カテゴリ	記録されるイベント
契約操作	作成・送信・更新・キャンセル・削除
署名操作	閲覧・署名・完了
PDF操作	PDF閲覧・生成・ダウンロード
認証操作	OTP送信・認証成功・認証失敗
LINE操作	コード発行・認証・署名
対面操作	QR発行・対面閲覧・対面署名

詳細な証跡で安心

すべての操作が記録されているため、「いつ」「誰が」「何をしたか」を後から正確に追跡できます。トラブル発生時も、監査ログで事実を確認できます。

証跡の記録と保全

記録される証跡

Simple Contractでは、契約に関するすべての操作を証跡として記録しています。

証跡項目	説明	例
タイムスタンプ	操作日時（秒単位）	2025-01-15 14:32:45 JST
IPアドレス	接続元のネットワーク	203.0.113.45
User-Agent	端末・ブラウザ情報	iPhone / Safari 17.2
メールアドレス	メール署名時の送信先	yamada@example.com
LINE userId	LINE署名時のアカウント	U1234567890...
PDFハッシュ値	改ざん検知用識別子	SHA-256: a1b2c3...

記録される操作

- ✓ 契約書のアップロード・作成
- ✓ 署名依頼の送信
- ✓ 署名ページへのアクセス
- ✓ 契約書PDFの閲覧
- ✓ 署名（同意）の実行
- ✓ 契約の完了

PDFハッシュ値による改ざん検知

契約書PDFのハッシュ値（SHA-256）を記録することで、改ざんを検知できます。

ハッシュ値の仕組み

ハッシュ値は、ファイルの「デジタル指紋」のようなものです。

ファイルの内容が1文字でも変われば、ハッシュ値は全く異なる値になります。

保存時と現在のハッシュ値が一致すれば、改ざんがないことを証明できます。

証跡パッケージ

契約完了後は「証跡パッケージ」をダウンロードできます。監査や法的トラブルの際に活用できる証拠書類セットです。

内容	説明
署名済み契約書PDF	署名履歴ページ付きの契約書原本
監査ログ	全操作の履歴（日時・IP・端末情報）
システム説明書	Simple Contractの仕組みと法的根拠
Q&A	想定される反論への対応方法

証跡パッケージの活用

「署名した覚えがない」と言われた場合も、証跡パッケージの監査ログで反論できます。詳しくは「監査・法的トラブル対応ガイド」をご参照ください。

よくある質問

Q 電子契約は裁判で証拠として認められますか？

電子署名法に基づく電子契約は、書面と同等の法的効力を持つとされています。Simple Contractは立会人型電子署名を採用しており、署名時刻・IPアドレス・端末情報を記録しているため、証拠として活用できる証拠が残ります。なお、証拠の採否は最終的に裁判所が判断します。

Q 相手方がアカウント登録しなくても署名できるのはなぜですか？

Simple Contractは「立会人型電子署名」を採用しています。これは、メールやLINEで本人確認を行い、システムが署名を代行する方式です。相手方のアカウント登録は不要ですが、IPアドレス・端末情報・アクセス時刻を記録することで本人性を担保しています。

Q 契約書が改ざんされていないことをどう証明しますか？

契約書PDFのハッシュ値（SHA-256）を記録しています。ハッシュ値はファイルの「指紋」のようなもので、1文字でも変更があれば全く異なる値になります。保存時と現在のハッシュ値が一致すれば、改ざんがないことを証明できます。

Q データはどこに保管されていますか？

契約書PDFおよび関連データは、Wasabi Cloud Storageの日本リージョンに保管されています。サーバーサイド暗号化を施し、厳格なアクセス制御のもとで管理しています。

Q 印紙税は必要ですか？

電子契約には印紙税は課税されません。これは国税庁の見解でも明確にされています。紙の契約書をスキャンしたものではなく、電子データとして作成・締結された契約が対象です。

Q どのような契約に使えますか？

業務委託契約、秘密保持契約（NDA）、雇用契約、売買契約、賃貸借契約、同意書など、幅広い契約にご利用いただけます。ただし、定期借家契約など一部の契約は法律で書面が義務付けられている場合があります。

Q 当事者署名型と立会人型、どちらが安全ですか？

どちらも法的に有効であり、安全性に優劣はありません。当事者署名型は電子証明書による強固な本人確認が特徴ですが、導入に時間とコストがかかります。立会人型は手軽に導入でき、相手方の負担も少ないのがメリットです。

お問い合わせ

セキュリティや法的有効性について
ご不明な点があればお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせページ

<https://simple-contract.com/contact>

営業時間：平日 10:00～18:00（土日祝休み）